



アース・エコ

子どもたちと地球の未来のために

アース・エコ
メールマガジン No.7-23
2017年3月5日(啓蟄)
特定非営利活動法人
アース・エコ事務局 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

世界市民会議の報告書によると日本人の66%が気候変動対策は「生活の質を脅かす」と考えるのに対し、世界平均は60%が「生活の質を高める」と回答したそうです。何かを「がまんする」「あきらめる」のではなく、「気分が良いから」「楽しいから」実行する気候変動対策を目指したいと思います。



緑区親子エコ講座 学んで遊んで、エコ工作！

2月18日(土)、横浜市緑区の中山地区センターで、緑区主催による親子エコ講座「学んで遊んで、エコ工作！ソーラー発電で光るひな人形づくり」が開催され、小学生13名と保護者10名の計23名が参加しました。アース・エコは緑区の依頼により講師・スタッフ6名が参加し、開催に協力しました。

今回の講座では初めての試みとして、プログラムの一部で小学生と保護者に別々のグループに分かれてもらい、子どもたちはゲーム「暮らし方の違い探し」、手回し発電で電気の仕事体験、40W白熱電球点灯実験、「手回し発電 vs 太陽光発電で電車の競走」を楽しんでもらいました。

その間、保護者の皆さんには地球温暖化のDVDや1950～2100年の気温上昇シミュレーション映像を見て温暖化について学んだり、照明消費電力比較、ドライヤー消費電力測定、テレビ画面輝度と消費電力測定の実験を体験し、省エネ・節電について学んだりしてもらいました。

ひな人形は、ソーラーパネルで発電した電気をコンデンサに蓄え、その電気でぼんぼりのLEDを点灯させます。細かい部品が多く、作業の遅い子どものペースに合わせたため、終了予定より30分近く遅れましたが、全員無事完成しました。

アンケート回答からは、子どもたちは発電体験や工作を楽しみ、保護者の皆さんにも地球温暖化の問題や省エネ・節電についていろいろな気づきがあって、全体として講座に満足していただいたようでした。 [桑原]



手回し発電 vs 太陽光発電
で電車の競走



完成したひな人形
ぼんぼりのLEDを点灯してみる

かながわ環境学校 葉山町内の中学校



色々な電球の消費電力を比較する

2月22日(水)、葉山町内の中学校で2年生3クラス76名を対象に、かながわ環境学校「実験・ゲームで挑戦！地球温暖化防止」の出前授業を行いました。アース・エコの会員7名が講師・スタッフとして参加したほか、インターシップの大学生1名が参加しました。



校門から運動場を通過して校舎に向かう途中、運動場では野球部員がピッチングの練習中。私たちが横を通ると投球を中断し「お早うございます」と大きな声が。登校中の生徒が道路でも、廊下でもすれ違う時に私たちに「お早



実験の結果を整理してまとめる

うございます」と大きな声で気持ちの良い挨拶を受けました。

担当の先生から、礼儀正しい行動や、乱暴な生徒がクラスにいても皆が上手くクラスに溶け込ませるなどは、先輩から後輩に引き継がれている校風に成っているとの事でした。

3 クラスをそれぞれ 50 分ずつと非常に短い時間でこなさなければならない忙しい授業でしたが、講義中もほとんど私語は無く、講師に顔を向け聞き入ってくれ、グループ分けの実験でも皆真剣に取り組んでくれました。すがすがしい気持ちで終えた出前授業でした。 [内田]

かながわ環境学校 葉山町内の小学校(3)

2 月 21 日(火)と 23 日(木)の 2 日、葉山町内の小学校で 6 年生 4 クラス 122 名を対象に、かながわ環境学校「実験・ゲームで挑戦！地球温暖化防止」の出前授業を行いました。講師・スタッフとして参加したアース・エコのメンバーは、21 日は 7 名、23 日は 5 名が参加したほか、両日ともインターシップの大学生 2 名が参加しました。



講師役として 2 年目の私。2 クラスずつ 2 日間に渡る出前授業となりました。初日のクラスは非常におとなしく余り反応を示してくれないため、ついつい同じ内容を繰り返し問いかけに多くの時間をかけてしまい、後の時間を短縮せざるをえない結果となりました。

進め方のアドバイスを頂きながら、2 日目の最後でやっと感覚が掴めたと言う状態。今後授業を進める上で私の貴重な経験と成りました。

1 校時後に「皆さんおとなしいですね」と先生に問いかけると、「冬休み前は賑やかだったのですよ。休み明けから突然におとなしくなったのです。」と、これも成長の過程なのでしょうか？

今回の感想文の中にこんな感想がありました。

「私は手回し発電体験がとても面白かったです。また、家に帰ったら家族に地球温暖化のことを話し、LED にかえるよう、相談してみようと思います。さらに週の初めに家族で今週はどの省エネに力を入れるか話して、1 週間の省エネに力を入れたいです。」

この他にも多くの児童が地球温暖化に対し真剣に取り組まなければと感じてもらえた出前授業となりました。 [内田]



出前授業の講師を務める筆者

児童の印象に残った
手回し発電体験

親子工作教室 2 日目 横浜市藤が丘地区センター



お母さんも手伝ってひな人形が完成

2 月 26 日(日)、横浜市青葉区の藤が丘地区センターで親子工作教室「ぼんぼりに LED をつけて、ひなまつり～男の子には五月人形もあるよ～」の 2 日目を開催しました。1 月 29 日(日)の 1 日目に引き続き、参加したのは男女小学生 2 名とその保護者の 2 組、計 4 名。講師・スタッフとして参加したアース・エコのメンバーは 5 名で、参加者数にあわせて人数を調整しましたが、それでもマンツーマン以上の対応になりました。

1 日目に省エネチェックシートを使って省エネのチャレンジ目標を決めましたが、男の子は自分の目標にチャレンジした 28 日間の結果を省エネカレンダーに記入して持ってきましたが、合格点の「ヤッタネ省エネ」でした。



完成した五月人形の LED を点灯

2日目の教室も最初に実験を体験しました。自然エネルギーの実験では風力発電と太陽光発電、新エネルギーの実験では温度差発電、スターリングエンジンと燃料電池自動車の実験を体験しました。

工作は、女の子はひな人形、男の子は五月人形の工作にチャレンジしました。パーツの数が多いため少し時間がかかりましたが、講師やスタッフが付きっきりで手順を説明し、親子で力を合わせて進めたため順調に進み、どちらの人形も無事完成。LEDを点灯させて喜んでいました。

今回は参加者の人数が少なかったのは残念でしたが、その分密度の濃い教室となり、参加者の皆さんにも満足してもらえたと思います。 [桑原]

アース・エコの活動にインターンシップ参加して

アース・エコは東京都環境局が行っているECO-TOPプログラム※に協力して、毎年インターンシップの大学生を受け入れています。今年度は桜美林大学リベラルアーツ学群の学生2名を受入れ、アース・エコの活動に実際に参加し、ボランティア活動を体験してもらいましたが、その感想を寄せてもらいましたのでご紹介します。

(※詳しくは <http://www.eco-top.jp/>)



昨年12月10日から2月23日の6日間小中学校での出前授業や親子工作教室にインターンシップとして参加させていただきました。活動においては小中学校の出前授業の割合が高く、今回は葉山町内の小中学校を訪問しました。活動内容としては小中学生に照明を変えるだけでどれだけ省エネにつながるのか？ また自分自身で手回し発電機を使って電気を作る大変さを理解していただきました。手回し発電機のコーナーは人気が高く、一生懸命1分間電気が消えることなく回していただきました。出前授業に行く前までは、小中学生は省エネなど環境対策への関心があるのか？ と思っていました。いざ授業をしてみると、多くの児童・生徒たちは家庭でも省エネ対策を行っていたり、近年街灯のLED化などが進んでいることも知っていて、また公共交通機関を使って最寄駅まで行くという児童・生徒も非常に多く、かなり



手回し発電機を使った実験の説明をする筆者(右端)

環境意識が高い児童・生徒が多く見受けられました。

産業革命以降、気温上昇は進んでいて、省エネだけでは気温抑制はできない状況だと私は思っています。しかしこのような

出前授業をすることで全く環境について関心がない児童・生徒も少しは環境に対して意識が高まると思います。環境に関心がない人も省エネをすることで環境が良くなるというメリットだけではなく、節約にもつながるということを加えていけば、多くの人々は取り組むと思います。NPO 法人アース・エコのように環境だけではなく、節約にもつながるということを発信していくことは非常に大切だと思いました。

私は今回NPO 法人アース・エコでのインターンシップを通して、環境だけではなく、NPO 法人の方々と意見交換などもし、多くのことを学ばせていただきました。今後このような習得した知識は学校で生かしていきたいと思っております。お忙しい中、インターンシップとして受け入れて下さり、ありがとうございました。 [伏見]



昨年の12月から5日間で地区センターでの工作教室3回と小学校での出前授業を2回経験させていただきました。その中で照明の比較・手回し発電・電力消費を担当することができました。5分で子どもたちに分かりやすく説明することは思ったより難しく、ベテランの方にコツを伺って、頭の中でシミュレーションを何度も繰り返し行いました。

今回のインターンで自分なりに考えたことは、活動を行う地域によってしゃべり方や促

し方をかえていくということです。静かで真面目な子が多い地域には説明と問いかけを工夫します。この場合、「説明を聞く」というハードルは低いので問いかけによ



家電製品の消費電力について説明をする筆者(右奥)

て関心を持ってもらいます。活発で元気潑潑な子が多い地域は実験の時間を長くして、説明は手を動かしている時行きます。こうすると、実験と向き合っている間は話を聞いてくれている確率が高いです。挙手や発言が多い地域もありました。この場合は子どもの「考え」を否定せずに正しいことを伝えます。雰囲気によって臨機応変に説明や実験、問いかけの比率を調整して子どもの注意・感心・発見を促す工夫をしました。子どもが何か気づいたとき、驚きで友達と顔を見合わせたときの表情

は、「語り手」の私にとっては大変嬉しい反応でした。

最後に、今後も悪化していく地球温暖化に対して危機感を子どもに与えることは、大人からしたら本意ではないかもしれないが、地球に優しい「教育」を小学生の内に施すことは有効であるように感じました。NPO 法人は未来の「人」を育てるために絶対に必要な団体だと思います。お金のしがらみも一切なく、純粹に社会のために子どもを見守っていくことができるからです。 [緑川]

アース・エコは COOL CHOICE に賛同します



未来のために、いま選ぼう。

「温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 26%削減」の目標を達成するためには国民一人ひとりの意識変革やライフスタイルの転換が不可欠です。アース・エコは、環境省が推進する Cool Choice の運動に賛同し、賛同団体として登録しています。

平成 29 年度通常総会開催のお知らせ

アース・エコの平成 29 年度通常総会を下記の通り開催します。会員の皆様はご出席ください。後日ご案内と議案書をお送りします。

~~~~ 記 ~~~~

日時：5月24日(水) 午後3時~5時 (2時30分受付開始)

場所：かながわ県民センター705会議室

議案書は5月15日頃にメールまたは郵送で発送の予定です。



## これからの活動予定

◇ 3月17日(木) 環境シンポジウム、横浜市神奈川区内の高等学校  
上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問い合わせください。earth.eco.jimukyoku@gmail.com  
平成 29 年度の活動計画は未定です。決まり次第ご報告します。  
会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

### 3月の例会・勉強会

3月8日(水) 13:30-16:30 かながわ県民センター705会議室

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

### 私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています。

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで [info@npo-earth-eco.com](mailto:info@npo-earth-eco.com)